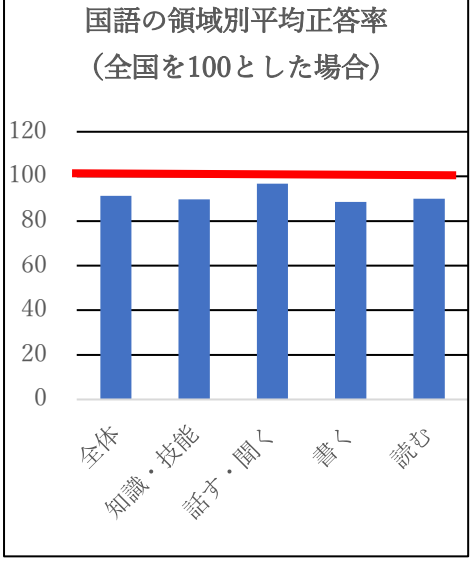
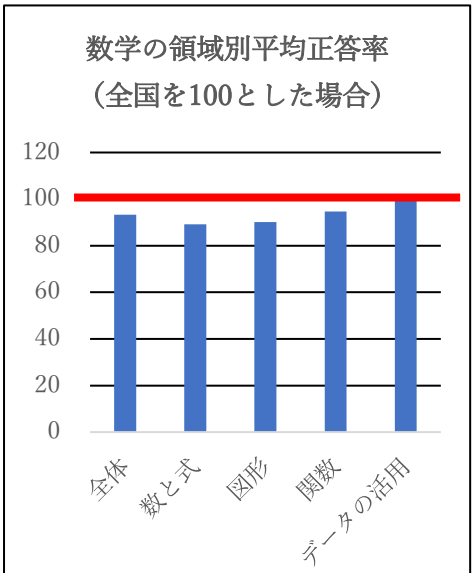
～「笑顔あふれる西の里中」に～

西の里中だより

北広島市立西の里中学校　西の里７９０番地(電話：０１１－３７５－２８４３)
令和６年度　臨時号　令和６年１１月８日発行　発行責任者　髙橋　浩子
ホームページアドレス　http://www.city.kitahiroshima.hokkaido.jp/nishinosatot/

４月１８日（木）に、実施しました全国学力・学習状況調査の結果について、概要をお知らせします。各教科の領域ごとに結果分析を行いながら、課題を焦点化し、授業改革に努めているところです。ご家庭におきましても、参考にしていただければと思います。





【国語】国語全体の平均正答率は全国平均より低い

・「知識・技能」では、言葉の特徴や使い方に関する事項、情報の扱い方に関する事項、我が国の言語文化に関する事項のいずれも正答率が低く、既習事項の定着に課題が見られました。
・「話す・聞く」の領域では、全国平均をやや下回っていましたが、その他の領域については全国平均を下回っており、こちらも既習事項の定着に課題が見られました。
＜具体的方策＞
①授業において意図を明確にしたうえで、相手の話を聞き自分の考えを伝え、意見を深める「対話」を柱とした場面を増やしています。
②「書く」経験を増やし、自分の考えが伝わる文章になるように描写を工夫して書けるように指導しています。
③また、必要な情報を取り出すことや、表現の効果を考え、説明する場面を設け、文章構成力の育成を図っています。

【数学】数学全体の平均正答率は全国平均より低い

・「データの活用」の領域は、全国平均とほぼ同程度にできています。
・「関数」の領域では、全国平均をやや下回っています。その他の領域では全国平均を下回っており、既習事項の定着に課題が見られました。
・「数と式」「図形」の領域では、等式の変形や筋道を立てて証明することに課題が見られました。
＜具体的方策＞
①自ら考え表現する対話の工夫と、対話により考えを広げ深めることができる授業を行っています。
②既習事項については、習熟度別学習での理解促進、ICTや課題プリント等で生徒が復習できる機会を設けています。
③判断の根拠を明らかにして説明し合う活動を取り入れ、思考の過程や根拠などを数学的に表現し合ったり、表現されたものを解釈しあったりする活動を通して、思考・判断・表現する力の育成を図っています。

＜生徒質問紙より＞（生徒が当てはまる・概ね当てはまると答えた割合）
・朝食を毎日食べている（91.3%）・自分には、よいところがある（79.4%）
・先生は、あなたのよいところを認めてくれいる（94.8%）・将来の夢や目標を持っている（67.3%）
・人が困っているときは進んで助けている（91.4%）・いじめはどんな理由があってもいけない（94.8%）
・人の役に立つ人間になりたい（94.8%）・学校に行くのは楽しい（86.2%）
・学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。（88.0%）

全体的に時間を守り、規則正しい生活を送れています。集団の中で役割を担い、互いに認め合い、人との関わりの中で共に高め合っていく態度が身についてきています。また、対話を重視した授業により、他者の見方、考え方を理解し尊重しながら、自ら学ぶ力の向上も図られています。今後も、それぞれの良いところに自信を持って生活し、将来の夢や目標に向かって力を伸ばせるよう学校での支援をしていきます。